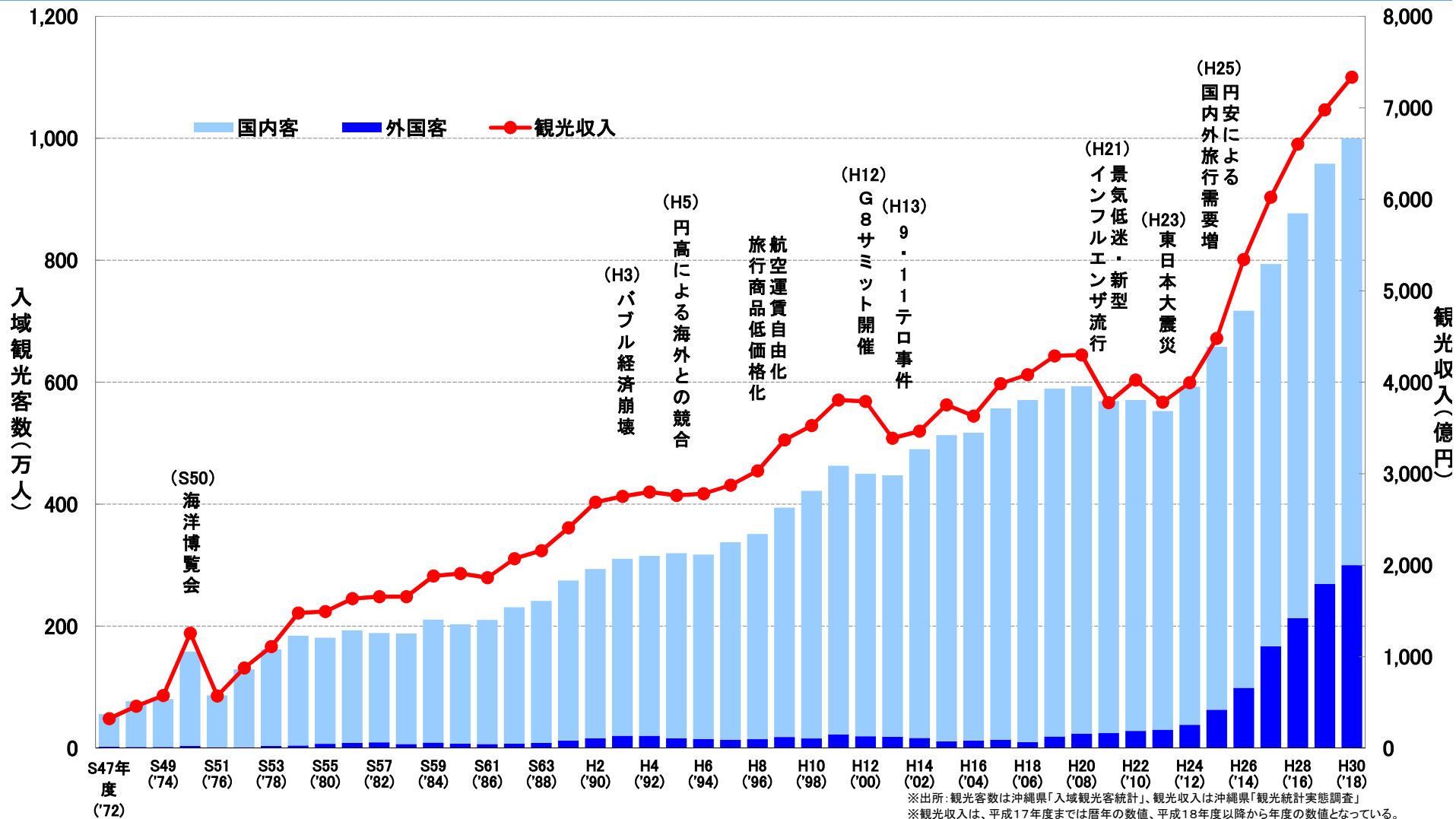


沖縄県のMICE振興に関する 取り組み状況について



第22回 国際会議等各種会議の
沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議

1. 入域観光客数と観光収入の推移



1972年度(昭和47年度)
 入域観光客数 56万人
 観光収入 324億円



2017年度(H29年度) 2018年度(H30年度)

入域観光客数(全体)	958万人	→	999.9万人(41.9万人増)
うち海外入客	269万人	→	300.1万人(31.1万人増)
観光収入	6,979億円	→	7,335億円(356億円増)

➤ 平成30年度の入域観光客数は約1,000万人となり、6年連続で過去最高を記録した。

2. 国内観光客と海外観光客の割合《平成30年度》

□平成30年度の観光客数

999.9万人

(対前年度比4.4%増)

□うち外国人観光客数

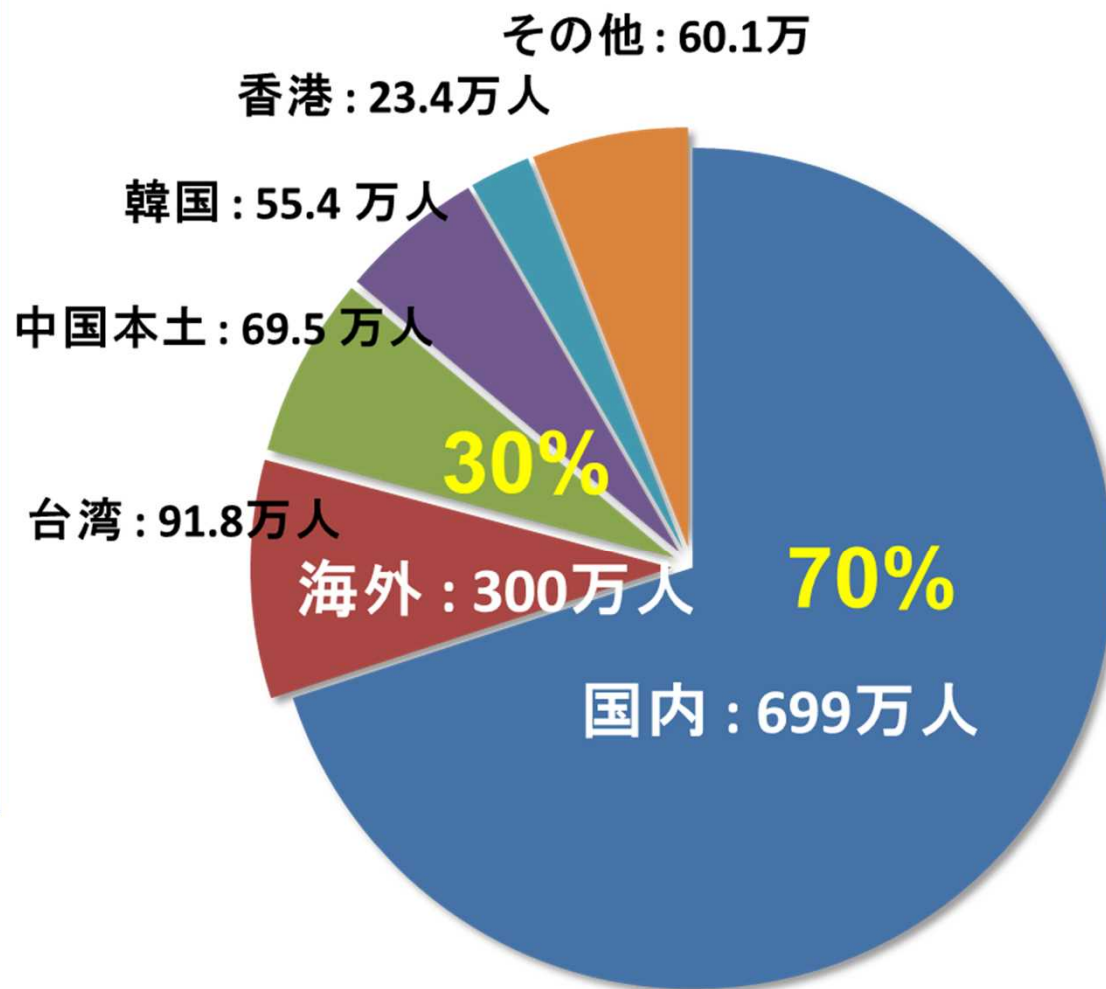
300万人

(対前年度比11.5%増)

□外国人観光客の割合

30.0%

(昨年度の割合28.1%)



目標では・・・

2021年度には国内客2:1外国客（観光客の3人に1人は外国客）になる想定

3. 政府における沖縄MICE振興の位置づけ

「国際会議等各種会議の 沖縄開催の推進について」 (平成12年6月20日 閣議了解)

- 「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議」の設置
- 向こう5年間の計画策定等
- 誘致活動の強化
- 国際会議等の受け入れの円滑化

沖縄県を国家戦略特別区域 「国際観光拠点」に位置づけ (国家戦略特別区域を定める政令(平成26年5月1日政令第178号))

「世界水準の観光リゾート地を整備し、ダイビング、空手等の地域の強みを活かした観光ビジネスを振興するとともに、沖縄科学技術大学院大学を中心とした国際的なイノベーション拠点の形成を図ることにより、新たなビジネスモデルを創出し、外国人観光客等の飛躍的な増大を図る。」

「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日)

- 訪日外国人旅行者数 <目標値> 2020年：4,000万人、2030年：6,000万
- 世界水準のDMOの形成・育成 2020年までに全国で100組織を形成
- MICEの誘致促進に向け、政府レベルで支援する体制を構築
 - ・レセプションでの国立施設の使用許可
 - ・ポスト・コンベンション/展示会向け施設の拡充
 - ・グローバル企業のビジネス活動を支える会議施設等の整備への支援 等
- 将来的に、官民連携の横断組織を構築し、オールジャパンで体制での支援を実施 v

4. 沖縄振興におけるMICEの位置付け

- 沖縄21世紀ビジョン基本計画（後期）では、**MICEを沖縄経済発展のプラットフォーム**として位置付け、**県内産業界が積極的にMICEを活用し産業成長**を図るための施策や**MICE産業の裾野を広げ新産業の創出を図る**ための産業政策を推進することとしている。

沖縄21世紀ビジョン基本計画（後期）におけるMICE振興の施策体系

基本施策：世界水準の観光リゾート地の形成

施策展開：大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興

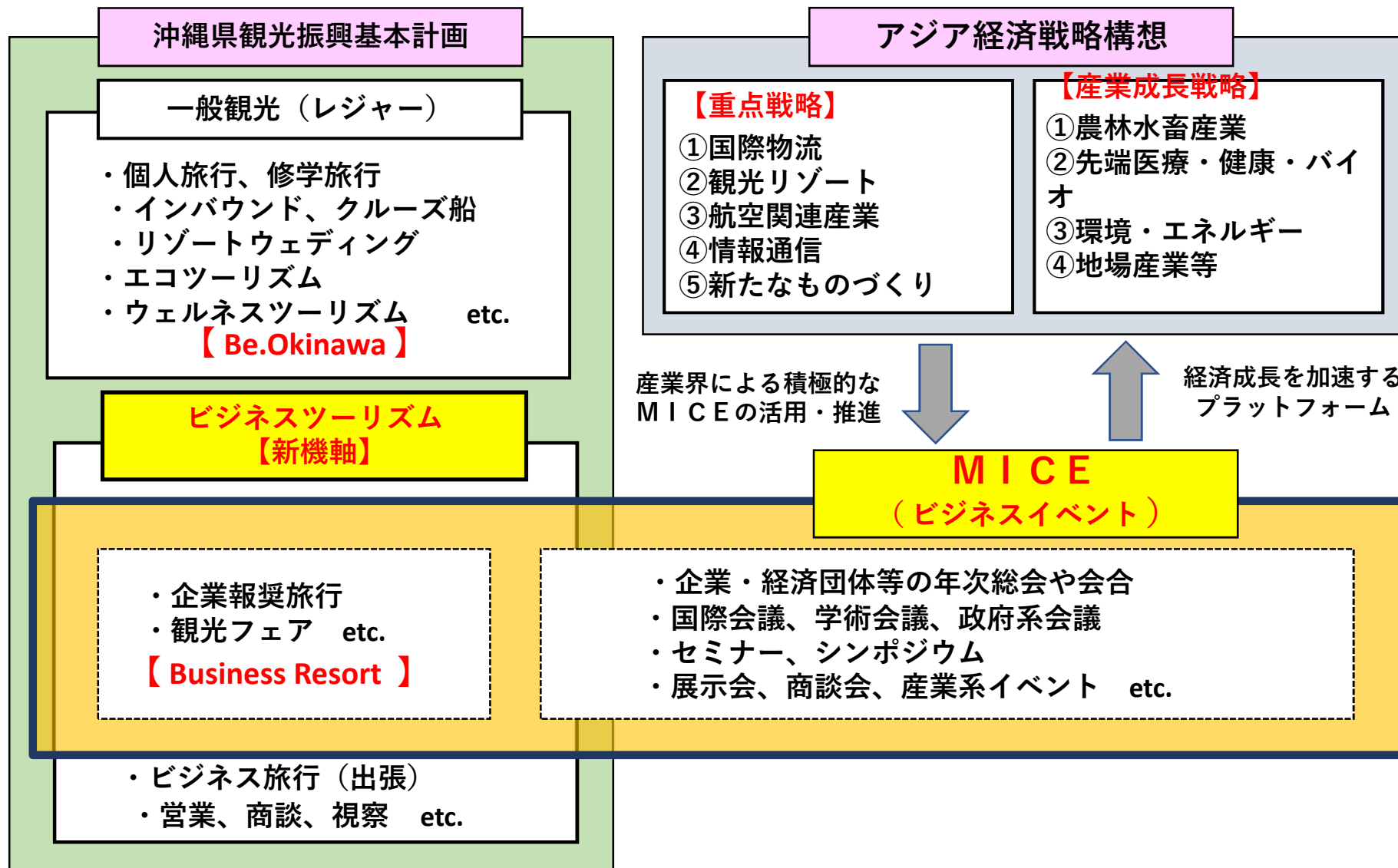
- 取組内容：**
- ①大型MICE施設の整備と周辺まちづくりの推進
 - ②既存MICE施設の利便性向上
 - ③マーケティングに基づく誘致・プロモーションの強化
 - ④MICE開催支援の充実
 - ⑤受入体制の整備（MICE推進組織設立、人材育成等）
 - ⑥県民理解の醸成（ボランティアなど）

基本施策：沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創造

施策展開：MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出

- 取組内容：**
- ①産業界によるMICE推進の取組支援
 - ②MICEプレーヤの集積・高度化
 - ③MICE関連商品・サービスの開発
 - ④MICE専門人材の育成

5. 沖縄の産業振興におけるMICEの位置付け



6. 沖縄県内におけるMICEの開催状況

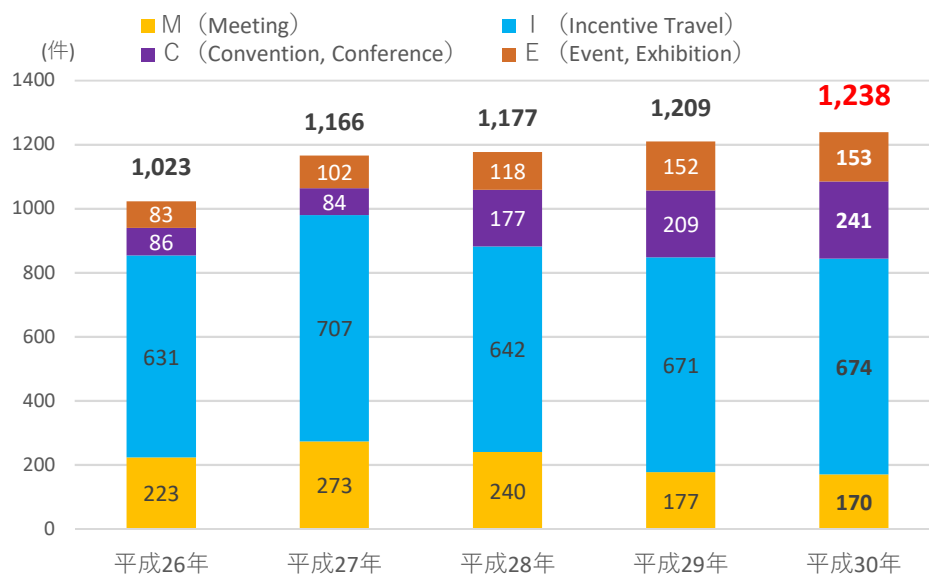
MICE開催件数（平成30年） **計1,238件**

インセンティブ旅行 (I)	674件 (54.4%)
学会・コンベンション (C)	241件 (19.5%)
ミーティング (M)	170件 (13.7%)
展示会・イベント (E)	153件 (12.4%)

◇規模別開催割合（平成30年）

50名未満	480件 (38.8%)
50～99名	248件 (20.0%)
100～299名	311件 (25.1%)
300～999名	114件 (9.2%)
1,000名以上	85件 (6.9%)

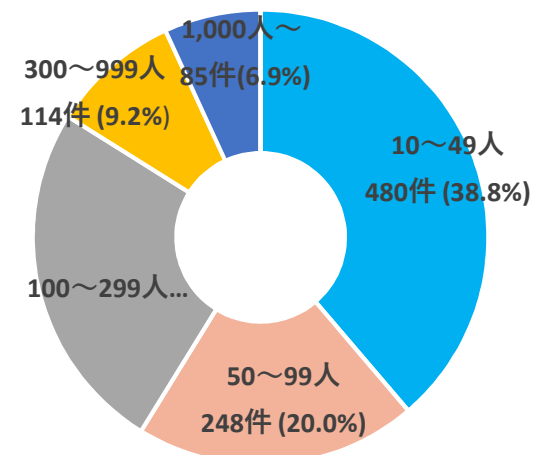
県内MICE開催件数の推移(平成26～30年)



→100名未満が全体の約6割

→現在の施設規模の制約から、

1,000名以上の催事は6.9%にとどまっている。



規模別開催件数(平成30年)